

# 小規模企業景気動向調査

[平成23年9月期調査]

～震災の影響は薄れつつあるが、本格的な回復には遠い小規模企業景況～

2011年10月24日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2011年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…震災の影響は薄れつつあるが、本格的な回復には遠い小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、▲34.9と前月調査に比べ5.2ptと改善に転じた。特に建設業では売上額、採算、業況DIが2桁の改善となった。全国的には震災の影響は徐々に薄れつつあり、前月の落ち込みから回復となったが、円高、台風等の災害、原材料や仕入価格の高騰等の影響を受け、先行き不透明である。

## <製造業> ◇…受注は回復傾向にあるが、採算の悪化に苦しむ製造業…◇

製造業DIは、▲32.5と前月比で3.9ptの改善となった。震災による受注減や原材料不足はほぼ解消しており、自動車関連を筆頭に多くの業種では受注増または安定的に受注を確保している傾向にある。しかし、円高の影響で発注の減少や採算の悪化の傾向も見られ、先行きは不透明である。また、食品製造業では、原材料高騰の影響や、一部地域では原発の風評被害で苦しい状況である。

## <建設業> ◇…悪化から一転、大幅な改善となるも、厳しい環境下におかれる建設業…◇

建設業DIは、▲37.3と前月に比べ14.6ptの大幅な改善となった。震災の復旧工事や台風により破損した屋根やサッシ等交換・修繕の需要があり、また、公共工事も少しずつ動き出している。しかし、仕入れ価格の上昇による採算の悪化や公共工事の更なる減少など、厳しい状態は続いている。

## <小売業> ◇…業況に改善が見られず、消費低迷傾向に苦しむ小売業…◇

小売業のDIは、▲42.6ptと先月から変化がなかった。被災地では復旧の進展とともに家電製品が好調ではあるが、全国的には地デジ移行の需要が一巡するなど耐久消費財関連は厳しい状況にある。食料品小売業では、生鮮食品の仕入れや仕入れ価格の高騰に苦しんでいる。また、衣料品関係では天候が安定しなかったため、季節商品の販売が厳しい状況であった。全体的に明るい材料がなく、厳しい状況には変わりがない。

## <サービス業> ◇…6か月連続の改善だが、業種・地域による差が顕著なサービス業…◇

サービス業DIは、▲30.9と2.3ptと前月と同様小幅ながら6か月連続の改善となった。9月の連休や修学旅行等の学校行事が始まり、宿泊関連業種が好調な地域も見られた。しかし、原発の風評被害や台風災害により宿泊業のキャンセル等影響が出ている地域もあり、地域差が大きい。また、クリーニング業は石油関連製品の高騰の影響で採算が厳しい。厳しい状態は続いている。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲36.4	▲30.0	6.4	▲26.7	▲20.1	6.6	▲44.1	▲27.5	16.6
採算	▲36.4	▲31.5	4.9	▲29.9	▲26.3	3.6	▲50.8	▲39.6	11.2
資金繰り	▲33.2	▲29.3	3.9	▲25.9	▲23.6	2.3	▲49.5	▲40.5	9.0
業況	▲40.1	▲34.9	5.2	▲32.5	▲28.6	3.9	▲51.9	▲37.3	14.6

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲41.4	▲39.3	2.1	▲33.3	▲33.1	0.2
採算	▲36.6	▲34.1	2.5	▲28.4	▲26.2	2.2
資金繰り	▲32.9	▲30.7	2.2	▲24.5	▲22.7	1.8
業況	▲42.6	▲42.6	0.0	▲33.2	▲30.9	2.3

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課

〒1000006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内 雅史